

雜 報

■ 母校近況

新樂教授(顯理氏)は昨年来家事上の都合により辞任せられ後任として内田工學士(講師)を迎へたり

平澤講師(勝氏)は昨年来辞任日米生糸株式會社に入られ化學部を擔任當分の間本校にありて研究中

阿形教授は今回(一月)勅任教授を以て待遇せられたり

林助教授は昨年四月より東京帝大文學部心理學教室にて研究中の處三月歸任の管

遠藤教授海外留學 本校教授として且桑樹學の權威として其名譽赫々たる同教授は植物生理學及桑樹學研究の爲ニ二年の豫定を以て歐米に留學を命ぜられ昨十二年十二月二十六日横濱解覽太平洋丸にて米國に赴から目下カリフォルニア地方見學中なり(三月下旬まで同地滞在)宛名は Yasutaro Yendo

% Japanese Consulate Sanfrancisco, U. S. A.

同教授よりの通信によれば California 地方は世界國蠶業の中心地にて果物の美味なる花輔の美しき到底本邦の比すべきものあらざるよしまた自動車の多き事道路の美しきこと財布の中が早く疲黄を感ずること〇〇の多きことは驚くの外なし 吾人は同教授の健在にして益々豊富なる蘊蓄を披瀝せられんことを祈る 本邦蠶絲の爲めに

尙同教授は今回桑樹栽培教科書を訂正増補して近々明文堂書店より發行すと聞く

■濱井蠶絲科學研究所 上田市蠶影町にあり第二回養蠶卒業生濱井壽夫君の經營する所昨年附近養蠶家の需に應じ 30000枚の人工孵化を施行し尙今回諸種の標本を作製し學校官廳等の需に應ずといふ

■ 寄 贈

1. 故岩住正明氏未亡人同齡枝殿より本會事務所に備ふ可き書棚一個(價五拾圓)を寄贈せられたり
2. 本校第十一回卒業生(養蠶科十七名、製絲科十五名、紡績科七名)より一人金貳圓宛合計金八十八圓を寄贈せられたり
3. 本校助教授林貞三氏よりは本會事務所維持費として金拾圓の寄贈を受け直に管舎備品費に充てたり

■ 會 合

1. 三月八日午後六時より在田新菴卒業生懇話會を明倫堂に開催し出席者舊卒業生十八

名新卒業生三十七名の參集を見午後十時盛會裡に散會す

2. 三月十五日本校第十一回卒業式後例により本會總會を開催し別項會告の通り本會規則の改正をなし尙午後四時より明倫堂に於て懇親會を開く

故關川宗男君弔慰金

(順序不同)

金參圓五拾錢 藤澤千陸君

金參圓 河井正君

金貳圓 宛久保田昌人君

三浦重雄君

甲田勝衛君

金壹圓五拾錢 小笠原喜代三君

金壹圓 宛小野修二君

小田切四郎君

小宮山太助君

渡部亘君

棟谷遠三樓君

前田龜雄君

古那友一君

金五拾錢宛 小林勳君

土岡光郎君

原田侑君

小山二郎君

宇都宮休一君

大根田丑五郎君

栗原章君

三ヶ田良吉君

金參拾錢 萩野上風君

計 金五拾貳圓參拾錢

内 金五拾壹圓八拾五錢

金四拾五錢

河野蕃君

荒木幸四郎君

大塚重藏君

淺井春夫君

池田忠次郎君

中村龜四郎君

大高雄三君

舟越重勝君

石坂虎治郎君

加藤善一君

吉田榮治君

兒玉慶次君

竹内虎夫君

本間久君

樋口琢磨君

萩野俊一君

渡邊康輔君

清水逸五郎君

吉開亮一君

中田太郎君

天野武良君

酒井利夫君

清水輝雄君

榊原春彦君

黒田誠一郎君

鹽原克巳君

石原石司君

稻井彌一君

岩崎登君

岡村源一君

遺族贈呈
爲替料及書留料

故園田駒吉君弔慰金

金貳圓 宛 稻井彌一君

大塚重藏君

金壹圓五拾錢也 小笠原喜代三君

本間久君

清水輝雄君

小宮山太助君

榊原春彦君

金壹圓宛	依田寬之助君	萩野俊一君	奥村好一君
	細川護君	堀忠太郎君	北本重郎君
	中村龜四郎君	福田武光君	三輪杉門君
	堀田啓治君	小田切四郎君	加藤善一君
	清水逸五郎君	淺井春夫君	河西尙一君
	宮澤茂雄君	好士泰造君	渡邊康輔君
金五拾錢也宛	真包新君	村田勻君	黑田誠一郎君
	粟栖忠士君	古川俊之君	竹內虎夫君
	土岡光郎君	石原石司君	宇都宮休一君
	岩崎登君	岡村源一君	大根田丑一郎君
	大高雄三君	三ヶ田良吉君	塚田宇平太君
	大兒玉慶次君	倉橋琢而君	林中直助君
	西山市三君	小林勳君	中田太郎君
	前田龜雄君	小山二郎君	塩原克巳君
	大野久藏君		

金參拾錢也 萩野上風君

合計 金四拾四圓參拾錢也

内 爲 替 料 金貳拾五錢也

書留郵便料 金拾錢也

殘 金四拾參圓九拾五錢也 遺 族 贈 呈

田村齋君弔慰金領收報告

金五十錢	栗栖忠士君	金五十錢	高橋利光君
金一圓	兩宮章君	金二圓	湯澤重敬君
金五十錢	佐藤愛之君	金五圓	田中定雄君
金五十錢	佐藤章二君	金五十錢	大高雄三君
金一圓	古川俊之君	金一圓	山本岩三郎君
金二圓	甲本正道君	金一圓	勝又藤夫君
金一圓	竹內虎夫君	金二圓	竹內勇君
金一圓	三輪杉門君	金一圓	馬場政友君
金一圓	黑岩覺君	金五十錢	根岸丑之助君
金五十錢	西山市三君	金五十錢	岡村源一君
金三圓	川船卓二君	金一圓	依田寬之助君
金五十錢	林直助君	金一圓	渡邊隆平君
金二圓	倉橋卓而君	金五十錢	山本三六郎君

金五十錢	新庄哲二郎君	金五十錢	榑原春彦君
合計	金三十二圓	遺族贈呈	

故村瀨小十郎君弔慰金

金五十錢	栗栖忠士君	金一圓	倉橋卓而君
金三圓	兩宮章君	金一圓	北澤周一君
金二圓	小林榮夫君	金五十錢	高橋利光君
金五十錢	佐藤愛之君	金五十錢	湯澤重敏君
金五十錢	佐藤章二君	金一圓	菅野三郎君
金一圓	米田俊雄君	金五十錢	大高雄三君
金一圓	古川俊之君	金一圓	勝又藤夫君
金五十錢	竹内虎夫君	金五十錢	馬場政友君
金一圓	三輪杉門君	金五十錢	根岸丑之助君
金五十錢	黒岩覺君	金五十錢	岡村源一君
金五十錢	西山市三君	金一圓	竹内健二君
金二圓	川船卓二君	金一圓	依田寛之助君
金五十錢	林直助君	金一圓	渡邊隆平君
金一圓	山本三六郎君	金五十錢	新庄哲二郎君
金五十錢	榑原春彦君		
合計	金二十五圓五十錢	遺族贈呈	

■石渡先生謝恩記念品資金募集

恩師石渡博士は久しく西ヶ原或は京都に在りて蠶絲に關する研究及教育に従事せられ先年蠶業試驗場の創設せらるゝや入りて技師となり益々研究に努力せらる又此間上田蠶絲專門學校教授囑託を受け研究に教育に彼之貢獻せられしこと誠に多大にして、其直接教養を受けたる者實に一千有餘名に達す是等多數の門下生は日夜先生を思ひ其師恩を感謝しつつあるは吾等の深く信ずる所なり。然るに先生には昨春退官、目下東大農學部養蠶科教授を擔任せられ傍ら蠶業試驗場囑託として研究に従事せらる。此際吾等門下生の常に抱懷せる謝恩の意を表する爲め、左記募集要項に依り各自至誠至純なる餘金を爲し以て記念品を贈呈せんとす。希くは門弟諸君洩れなく御賛成あらんことを

- 一 募集の範圍 門下生一同
- 一 贈金額 壹圓以上
- 一 募集期限 三月末日迄に應募者の道府縣、朝鮮、臺灣、南滿州の委員に送金すること
- 一 記念品 選擇贈呈は在京委員に一任のこゝ

